

公表

事業所における自己評価総括表

児童発達支援

| | | | |
|----------------|-----------------------|----|--------------|
| ○事業所名 | こども発達未来スタジオIppo 三日月教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 2月 1日 | | ～ R8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 16 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 2月 1日 | | ～ R8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1 | 個別性に応じた支援を行っている | 個別支援計画に基づき、発達段階や興味関心に合わせた関わりを行い、成功体験を積み重ねられるよう支援している | 職員間で支援方法の共有や振り返りを行い、支援の質の向上と統一を図る |
| 2 | 保護者との連携を大切にしている | 送迎時や連絡帳を通して日々の様子を丁寧に伝え、家庭での状況も共有し支援に活かしている | 面談や情報発信の機会を増やし、家庭支援や子育てに関する情報提供も充実させる |
| 3 | 安心して過ごせる環境づくりと職員連携 | 職員間で子どもの様子や支援方法を共有し、活動の見通しや安全面の配慮を徹底している | 研修参加や内部研修を通して職員の専門性を高め、より質の高い支援につなげる |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 保護者向け研修や家庭支援の機会が十分でない | 日々の支援業務が中心で、研修や交流の場を設定する時間が限られている | 保護者向けの情報提供や研修機会(ペアレントトレーニング等)を検討し、家庭支援を充実させる |
| 2 | 地域や関係機関との連携が十分でない | 外部機関との情報交換や連携の機会が限られている | 学校や園、関係機関との情報共有の機会を増やし、地域で連携した支援体制づくりを進める |
| 3 | 活動内容や支援の取り組みが保護者に十分伝わっていない場合がある | 送迎時の短時間のやり取りでは活動の目的や支援の意図まで伝えきれないことがある | お便り・写真掲示・連絡帳を活用し、活動内容や支援のねらいを分かりやすく伝える |